

令和5年度第1回 旭川市中園廃棄物最終処分場監視委員会会議 会議録

日 時	令和5年5月16日(火) 14:00~15:50
場 所	旭川市近文清掃工場 大会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 旭川市中園廃棄物最終処分場監視委員会 委員13人(定数15人) ・松藤敏彦 ・吉田英樹 ・小寺史浩 ・山口 篤 ・荒川恵美子 ・荒川信基 ・土田孝夫 ・大村紫乃 ・有木祥次 ・林上紀子 ・三田村恵美子・津田一正 ・伊藤正司 ○ 事務局7人 ・富岡環境部長 ・尾藤廃棄物処理課長 ・齋藤旭川市廃棄物処分場所長 ・藤旭川市廃棄物処分場主査 ・増田同主査 ・工藤同主任 ・後藤同主任
公開・非公開	公開
傍聴者数	なし
報道機関	なし
調査検討事項及び資料等	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年度定例会議及び調査検討計画について 2 旭川市廃棄物処分場の構造及び中園廃棄物最終処分場閉鎖工事の概要について 3 令和4年度環境調査の結果について 4 環境調査(河川水測定)について 5 環境調査(共和・新共和)について 6 監視機関委員の視察について 7 勉強会について 8 その他

項目	担当	内 容
開 会	司 会 (事務局)	これより、令和5年度第1回 旭川市中園廃棄物最終処分場監視委員会を開催する。 本日の調査検討事項は 1 令和5年度定例会議及び調査検討計画について 2 旭川市廃棄物処分場の構造及び中園廃棄物最終処分場閉鎖工事の概要について 3 令和4年度環境調査の結果について 4 環境調査（河川水測定）について 5 環境調査（共和・新共和）について 6 監視機関委員の視察について 7 勉強会について 8 その他 となっている。 それでは、会長に議事の進行をお願いする。
出席数確認	会長	本日の出席委員は、15人中12人。定足数に達しているので、これより議事に入る。 ※注 途中参加1人。最終的な出席委員は13人。
会議録確認	会長	議事の前に前回の会議録について確認する。内容に疑義等あるか。 (異議等なし)
	会長	前回の会議録は確認された。
調査検討事項 1	会長	それでは、調査検討事項1 令和5年度定例会議及び調査検討計画について、事務局から説明願う。
	事務局	(資料1により説明)
	会長	事務局より、令和5年度定例会議及び調査検討計画について説明があったが、委員の意見・質問を求める。
	事務局	会議開催場所について、今年度も昨年同様、広いスペースが確保できるこの近文清掃工場会議室を会場としたい。その場合、次回会議で予定している処分場の現況確認は、動画や画像での説明となるがいかがか。
	会長	現況説明は現地よりも動画の方が説明を聞きやすい。移動時間も短縮できるので、不都合がなければそれでいいと思うがよいか。
		(異議等なし)
	会長	動画の内容等について何か要望があるか。
	副会長	調整池や水処理施設が見たい。将来的な施設の廃止に向けて、設備の老朽化の状態など、現時点での状況を確認したい。
	会長	浸出水の取込口や処理水の出口など、1日に処理している水の量がイメージできる素材があればお願いしたい。また、昨年の動画にはなかった水処理の状況もお願いしたい。
	会長	ほか、意見等あるか。 (意見等なし)
	会長	それでは次に進む。
調査検討事項 2	会長	次に、調査検討事項2 旭川市廃棄物処分場の構造及び中園廃棄物最終処分場閉鎖工事の概要について、事務局から説明願う。
	事務局	(資料2により説明)

会長	<p>ちなみにこの資料2は、安定化工事が終了した平成21年に、経過を記録として残すために製作したパネルの原稿である。</p> <p>実物のパネルは大きなサイズ（A1サイズ）で、希望があれば貸出もしている。</p> <p>意見や質問等あるか。</p>
委員1	<p>資料2-5、中段左に野菜の食害に関する記事がある。実際の写真は目に訴えるものがあるので、分別の不徹底が処分場周辺住民の負担に繋がることや、排出者に適正な分別意識を自覚させるような記事を、このような写真を交えて市の広報誌等で周知してほしい。最近、そういったPRがなかったように思う。</p> <p>次に資料2-4の中園処分場安定化工事について。</p> <p>これは終了した処分場に億単位の予算を費やして、ブラックボックスの解明とそこで明確化された問題点への対策を行った経過であるが、改めて、これだけのことができたことに感銘を受けている。</p>
会長	<p>一連の工事で、費用はどの程度であったか。</p>
事務局	<p>およそ16億円強である。</p>
会長	<p>数点補足する。</p> <p>まずは資料2-1。図にあるとおり、そもそもの問題は、この地域に集中して、40年以上にわたって処分場が設置されてきたことである。</p> <p>もう一点、このパネルには住民の声を多く掲載している。</p> <p>パネル製作時、住民の声も必要と考えて募集したところ、予想以上に多くの意見が寄せられた。当初は箇条書きによる掲載を考えたが、読むうちに、原文の方が伝わりやすいと考え、ほぼ原文のまま掲載することとした。</p> <p>特に、委員1の発言にも繋がるが、資料2-2の右上段に処分場建設当初の話として、「市は広報誌に、建設を反対している地域住民に対して、大多数の市民のために協力してほしいとの記事を掲載していたが、本来は逆で、市民に対してこそ、地域の負担を減らすために徹底した分別等と呼びかけるべきと思った。」との掲載がある。</p> <p>これは、公共施設のためという名目で、弱い立場の者にのみ協力を求める姿勢は間違いである、という明確な意思表示である。</p> <p>資料2-5の下段にこれまでの経緯があるが、この問題は平成12年から始まってこの会の設置が平成15年、すでに20年が経過している。</p> <p>こういった問題が発生すると、負の遺産として長期にわたる対応が求められるという一つの例であり、その経過をパネルで残すというのは非常に意義深いものと考えている。</p> <p>自分自身、会議に携わってきた中で、住民の気持ちをある程度は理解しているつもりでいたが、これら住民の声を読んで、何も分かっていなかったことを思い知らされた。各委員にもしっかり目を通しておいていただきたい。</p> <p>次に安定化工事について、ガス抜き管は有効であったが、水抜きの対策はあまり効果が上がらなかった。建設時に適正な対策をしなければ、事後の対応では多額の費用負担が発生するという例である。</p> <p>ただ、このような安定化工事は、全国的に旭川が唯一の例ではないかと思われる。</p> <p>補足は以上だが、ほかに意見等あるか。</p>

	委員 2	この会議の委員は1期2年の任期である。地元で活動しながら処分場の経過も理解した上で会議に参加している自分でも、環境調査など議題によっては学識経験者の解説がなければ、全く理解できない状況である。自分が市街地に居住している一公募者であったら、始めにこの資料2の説明があれば、より理解が深まると考える。
	会長	<p>大多数の市民が他人事だと考えていることが、地域へのしわ寄せに繋がっている。もっと市民への周知が必要。パネルの貸出しも、実際にはほぼ利用されていないようだ。</p> <p>例えば各小学校にパネルを掲示してもらうなどはどうか。</p> <p>ごみ処理といえぱりサイクル一辺倒だが、適正な処理を怠るとこのような結果になるということを知ることこそ環境教育だと思う。当時から十数年経過しているが、風化させないための取組も必要である。</p>
	副会長	<p>現処分場のユーチューブ動画を見た。現行の「いい状態の処分場」を紹介する動画となっているが、中園処分場に関する動画も作成してはどうか。</p> <p>当時の様子や、安定化工事等により改善された様子なども交えて、言葉でパネルの内容を説明するような動画ができないか。文字よりも言葉の方がより理解しやすい。制作に時間を要すると思うが検討を願う。</p>
	会長	ちなみにパネル原稿は、処分場のホームページからもダウンロードできる。
	委員 3	旭川市は「デザイン都市」に力を入れているが、その取組の一環であるデザインウィークやデザインプロデューサー育成プログラム等を利用して、デザイン思考でより多くの市民が興味・関心を持つような周知方法を検討してはどうか。
	会長	市役所内の横のつながりを積極的に利用して、若者も巻き込むような取組も必要と考える。
	委員 4	<p>自分自身、家庭ごみの分別徹底は常に心がけているが、今回のパネルを通して、地域住民がこれほど苦勞してきたことを多くの市民の目に触れる機会があればいいと感じた。</p> <p>特に子ども達にもこのことを知ってもらい、この取組が自分たちの未来へと繋がっていくことを理解してほしいと感じた。</p>
	委員 1	<p>自分は学校用務員をしており、児童の社会科発表会を何度か見学したが、教師も含めて、身近な地元のことは案外知られていない。</p> <p>パネルにあるような、以前の汚い中園処分場の状況や、それを改善するための監視機関の取組。それらを踏まえて管理運営されている現処分場の状況などを副読本（できれば動画形式）で、社会の授業に取り入れてもらえれば、子ども達の理解に繋がると考える。</p>
	会長	今回各委員から市に対して、子ども達や多くの市民へ伝えていく努力を求めるといった意見が複数あった。特に小学生を対象とするのは良いアイデアだと思うので、これを要望として次に進む。
調査検討事項 3	会長	次に、調査検討事項3 令和4年度環境調査の結果について、事務局から説明願う。
	事務局	(資料3, 3-1, 3-2により、中園処分場に関する調査結果を説明)
	会長	<p>補足で説明する。</p> <p>資料3-2の13ページ。項目欄に生活環境項目と有害物質がある。有害物質は文字どおり有害な物で、生活環境項目は「汚れ」と考えるとよい。表の見方は簡単で、一番右側の列に示された基準値を超えていないか確</p>

	<p>認するだけである。</p> <p>調査結果の値は非常に低く、全く問題がないことが分かる。</p> <p>有害物質は20項目以上あるが、表にあるのは4項目。下の囲みに「検査しているが3年間不検出の項目」とあるとおり、4項目以外は全て不検出で、値が検出された4項目も、基準よりはるかに低い値である。</p> <p>基準値を超えたのは唯一15ページの大腸菌数（生活環境項目）だが、これまで会議で説明したきたとおり、河川の大腸菌は処分場が原因ではなく、自然由来のものである。</p> <p>次に経時変化について、事務局より説明願う。</p>
事務局	(資料3-2 24~25ページを説明)
会長	<p>24ページの浸出水(BOD)と浸出水(SS)の図に関して、埋立地から出てきた水を浸出水といい、それを処理した水を処理水という。埋立地を廃止するためには、浸出水の時点で処理水(放流水)の排水基準を満たしている必要がある。この基準に関して、図では改定前の自主基準値を赤線で、法定基準値を緑線で表している。</p> <p>SSでは、全ての値が赤線を越えている。つまり自主基準値を維持している限り、廃止はできないということである。</p> <p>SSは有害物ではなく単なる汚れであるため、法定基準値に改定した。その結果、浸出水が基準(緑線)を下回り、廃止を議論できる状況になった。会議では、現処分場における自主基準値改定の検討も行っているが、これは非常に重要なテーマである。</p> <p>次にガス量について、図にはそれぞれの測定値が表示されている。ただ、人間が感じられる流速はせいぜい1m/sでほとんどがそれ以下であるため、実際にはほぼ発生していない状態といえる。</p> <p>25ページに総量の図があり、11月だけが突出している。これは前ページ、A-29の突出した1回の値の影響であり、埋立地全体で考えるとガス発生はほぼないといえる。</p> <p>次に埋立地内温度だが、周辺の地中温度プラス20℃未満という基準があり、右下の図ではその基準を赤線で示している。16地点で4回計測しているうち基準を超えているのは1回のみである。</p> <p>廃止の基準は、水と温度とガス量である。今説明したとおり、水は自主基準値改定によりクリアしており、ガス量、温度もほとんどクリアしているというのが現状である。</p>
副会長	<p>27ページのガス抜き管位置図と24ページの図で補足説明する。</p> <p>位置図中、赤い丸で囲んでいるのが、24ページに調査結果を表示しているガス抜き管の位置である。</p> <p>自分たちは2007年頃からガス抜き管の調査を行っている。観測可能なガス抜き管84本のうち、メタン濃度が高く流速が高いガス抜き管として選んだ16本を測定対象としている。</p> <p>学会では、全てのガス抜き管を対象にするとの考えもあるが、ガス発生がほとんどないガス抜き管も多いので、この16本を対象としている。</p> <p>この位置図では、右側に行くほど傾斜が高く深くまでごみが埋まっており、埋立終了時期も遅い。</p> <p>ちなみに資料2-3のボーリングデータは、真ん中のA-9や8-4辺りと思われるが、この辺りから廃棄物の層が50m程度となる。左側はほぼ安定しているため、ごみ量が多くガスが抜けきっていない右側に測定対象が集中している。</p>

	<p>今回の資料ではA-29のガス濃度が高かったが、A-37やB-7、C-7、D-1、D-2も比較的高い傾向がある。これは、埋立終了からの経過年数が浅いためである。</p> <p>B-28は最も奥だが、清掃工場の焼却灰が埋め立てられているので、ガスの組成は異なっている。</p> <p>今回は1年間で4回分の測定データである。10年ほど測定を続けてきた経験では、ガスが全く出ない回もあれば突然出る回もあるなど、非常に不規則である。そのため、もう少しデータを蓄積しなければ傾向はつかめないと考えている。</p> <p>この処分場は生ごみが多量に埋め立てられているので、全国的にみて同規模の処分場との比較では、ガス流量は多いと思われる。</p> <p>学会におけるガス発生がないという目安は1L/minなので、流量は多いという印象を受けている。廃止の検討を進めるには、もう少しデータを蓄積して、傾向を掴んでいく必要があると考える。</p> <p>資料の表記に関してだが、資料24ページのガス測定結果と29ページの位置図のイメージを合わせたいので、位置図左側から右側に向かう順番で、測定結果を表記してほしい。</p> <p>会長の説明にもあったが、水質は全く問題なく、あとはガスが安定すれば、廃止を見込める状況である。</p>
会長	<p>自分が最も問題視しているのは、この施設の管理に毎年1億円以上が費やされていること。</p> <p>ガスに関しては、当該地は未利用地であるため、わずかなガスの発生が問題になるとは思えない。メタンの爆発に関しても、このような開放空間で発生することはなく、また、硫化水素の発生も見られないことから、安全性に問題はないと考える。</p> <p>個人的には、かかる経費も充分に考慮しながら、廃止に向けた検討を進めていくべきと考えている。</p> <p>では、次（共和・新共和の調査結果）に進む。</p>
事務局	（資料3-2 21～23ページを説明）
会長	<p>共和・新共和については、後の議題で、調査内容の検討を行うこととしている。</p> <p>調査結果については特段の問題はないため、現処分場の調査結果に進む。</p>
事務局	（資料3-2 4～10、26ページを説明）
会長	<p>資料26ページで補足する。</p> <p>左上にある浸出水のBOD、SS、COD、窒素含有量の図では、いずれも赤い線（自主基準値）を超えている。つまり水処理が必要な状態ということである。</p> <p>こと、CODと窒素含有量は、法定基準はないとの説明書きがあるが、窒素含有量は富栄養化が懸念される場合に、CODは海に放流する場合に用いる基準である。つまり、本来必要のない基準を設定しているために、費用を掛けて脱窒や膜処理などの処理を行っているということである。</p> <p>このあと環境対策協議会において現処分場の自主基準値に関する検討を行うが、こういった点を踏まえて、中園処分場と同様に自主基準値を改定したいと提案しているものである。</p>

		次に、右下にある埋立地内温度の図だが、現在稼働中の処分場であるため、温度が高いのはやむを得ないと考える。ただ、その上の図で、b地点のメタン濃度が高いことが気になる。資料の2ページで確認すると、比較的手前(の埋立が早期に終了している)側に見えるが。
	副会長	コンポストなどと同様に、廃棄物が分解されるときには熱が発生する。埋立地には、内部への空気の取り込みをよくするために石を積み上げて築いた碎石層があるが、その周辺のガス抜き管はいずれも高温になっている。中でも現在、b地点が最も高温(50℃程度)であり、分解が順調に進んでいると考えているが、その周囲から発生していると思われるメタンも多いため、温度も高くメタンも多い地点となっている。この付近は搬入規制前の事業系可燃ごみが多く埋め立てられているため、恐らくその影響だと考えている。そのほかの地点のメタン濃度は、おおむね下がってきている。
	会長	以上、環境調査の結果からみた処分場の状況である。測定場所によって値は異なるが、特に問題はない。 この議題はこれでよろしいか。
		(異議等なし)
	会長	それでは次に進む。
調査検討事項 4	会長	調査検討事項4 環境調査(河川水測定)について、事務局から説明願う。
	事務局	(資料4により説明)
	会長	河川調査について、有害物に関する問題はないが、大腸菌に関しては影響があるのではないかということで測定を継続してきた経過がある。 資料4の2ページ下の表について。 現処分場に関しては処理水の数値が最も低いという結果が多いので問題ないように見えるが、中園処分場は処理水の数値が高いように見える。 ただ、処理水と河川水は測定方法や測定結果の単位が異なっているため、本来比較すべきものではない。 この表は、数値的なデータも必要との要望により作成したが、それよりも、河川を流れる水量とそこに流入する処理水量の比較で、影響がほぼないことの理解が得られると考える。 今後は、地元住民に説明を行った上で調査終了となる。費用的な面よりも、あまり意味のない調査を継続しているという問題を解消するためである。 これまでに水田土壌や川の底質など、多くの調査項目を整理してきたが、残っていたのがこの河川水である。 質問等がなければ次に進む
		(質疑等なし)
調査検討事項 5	会長	次に、調査検討事項5 環境調査(共和・新共和に関する調査)について事務局から説明願う。
	事務局	(資料5により説明)
	会長	4ページに放流口の写真がある。新共和は水流があるように、共和はさほど出ていないように見えるが実際はどうか。
	事務局	どちらも水が流れている状況である。
	会長	確認だが、廃止制度以前の処分場だが、事実上廃止になっているということによいか。
	事務局	そのとおりである。

	会長	<p>水質は全く問題ないと思われるが、アンモニアと硫化水素が、健康への影響はないものの、悪臭の原因にはなりうる状況である。そこから、水質調査は項目の見直し、ガスの測定は継続。という方法が考えられる。</p> <p>今後、中園処分場の廃止が見込まれるが、浸出水の測定など管理をどうするかという検討が必要となる。</p> <p>共和・新共和はそのモデルとして測定を継続するという考え方や、すでに埋立終了から50年近く経過しているので不要。あるいは、少量の発生だがガスのみ測定を継続。という考えもあり、個人的には、どれが最適とは言い切れない。</p> <p>意見等はないか。</p>
	副会長	<p>ガスの組成は二酸化炭素がほとんどで、メタンは非常に少ない。これはほぼ安定化していることを表している。微量の硫化水素を問題視するか否かだが、個人的には調査終了でよいという意見。</p> <p>むしろ、フェンスやコンクリートの排水口など残置物の取扱が問題。できるだけ自然の状態に戻した上で、測定も終了すべきと考える。</p>
	会長	<p>二酸化炭素の発生も多少気にはなる。</p> <p>水質測定は不要だが、ガス測定は一応継続した方がよいと思う。</p>
	環境対策会議副会長	<p>硫化水素が気になるので、もう少し経過を観察した上で判断した方がよいと考える。</p>
	副会長	<p>これまで、当該地点のガスを測定したことがないので、自身で一度、深部まで測定する。</p>
	会長	<p>今回の検討結果はどのようにまとめるべきか。</p>
	事務局	<p>副会長より、ガス測定をしていただけたとの申出があったので、その結果に基づいて、改めて審議をお願いしたい。</p>
	会長	<p>水質測定は原則終了。ガス測定は改めて検討するというところで、継続審議とする。</p> <p>では、次に進む。</p>
調査検討事項6	会長	<p>次に調査検討事項6 監視機関委員の視察について、事務局から説明願う。</p>
	事務局	<p>(資料6により説明)</p>
	会長	<p>視察候補地・日程は、挙手による多数決で決定する。</p>
		<p>※ 視察候補地は岩見沢市。日程は後日調整となった。</p>
	会長	<p>それでは次に進む。</p>
調査検討事項7	会長	<p>次に調査検討事項7 勉強会について、事務局から説明願う。</p>
	事務局	<p>(資料7により説明)</p>
	会長	<p>例年どおり実施することでよいと思う。</p> <p>何か、希望するテーマはあるか。</p>
	委員3	<p>埋立地の跡地利用に関して、国内外における事例を知りたい。</p>
	会長	<p>では、その内容を勉強会のテーマとする。</p>
調査検討事項8	会長	<p>次に、調査検討事項8 その他 ということで、なにかあるか。</p>
	事務局	<p>報告事項が2点。</p> <p>今年は雪解けが早く浸出水量も例年より多かった。これに伴って、中園処分場の調整池の水量が「融雪期等における中園廃棄物最終処分場浸出水処理対応基準」における安全貯留水位を超えたため、同基準に則って4月19日から5月8日までの間、調整池から塩素滅菌した上で直接河川に放流する仮放流を実施した。</p>

		<p>また、現処分場においても同様の状況となり「融雪期等における旭川市廃棄物処分場浸出水処理対応基準」に則って、4月10日から5月9日までの間、ゲート操作による浸出水量の調整、及び埋立地に設置した仮貯留池へのポンプ圧送を実施した。</p> <p>なお、現在は両処分場ともに浸出水量は落ち着いており、通常の運転管理を行っている。報告は以上とする。</p>
	会長	<p>ほか、何かあるか。</p> <p>(会場からは何もし)</p>
閉会	会長	<p>本日の会議は以上で終了とする。</p>
	司会 (事務局)	<p>以上で、令和5年度第1回 旭川市中園廃棄物最終処分場監視委員会会議を終了する。</p> <p>このあと引き続き、令和5年度第1回 旭川市廃棄物処分場環境対策協議会会議を行う。事件の申請人委員については、可能であればオブザーバーとして参加をお願いしたい。</p>